

令和元年度 総合教育会議

川崎でつながる  
川崎でつなげる

外国につながるのがある  
生徒への支援



県立川崎高等学校

校長 平松 和夫

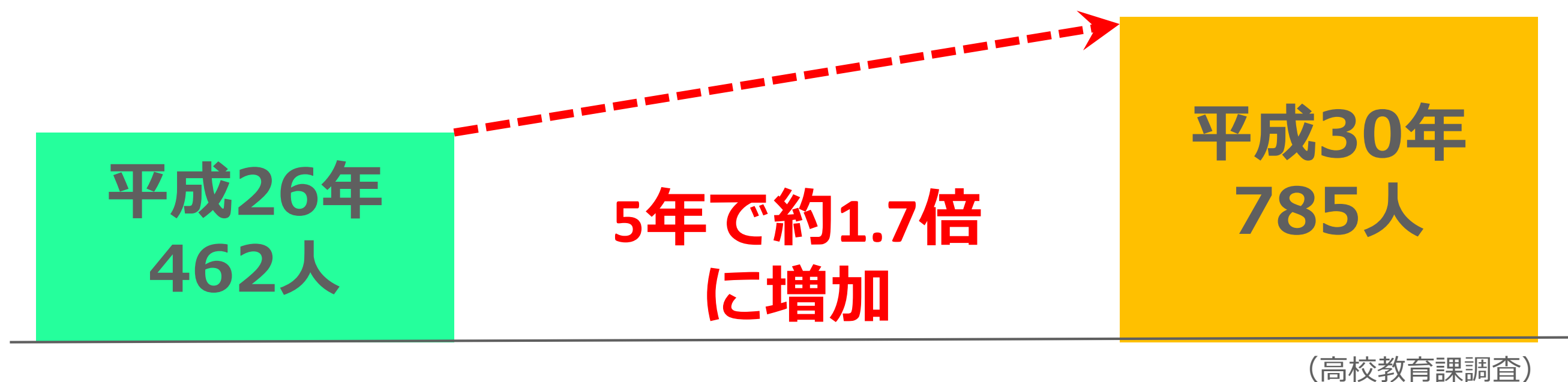


## 紹介内容

1. 日本語を母語としない生徒の状況
2. 日本語をどう学んでいるのか？
3. 川崎における状況
4. 川崎でつながる 川崎でつなげる

# 外国につながるのある生徒の状況

神奈川県立高校における、日本語指導が必要な外国につながるのある生徒数



## 来日の事由

- 親が日本人と結婚して他国から呼び寄せられた生徒
- 親の仕事の都合で、他国から呼び寄せられた生徒

生徒本人の同意がないまま来日 (90%)

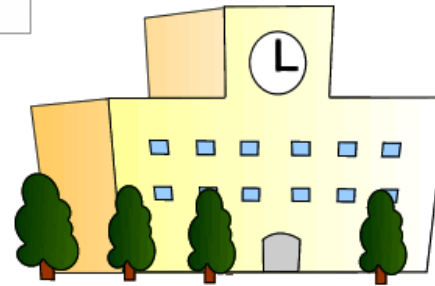
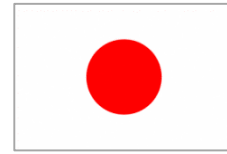


## 課題 (語学力やビザの関係)

- 日本語が全く話せない
- 大学進学を目的とした奨学金には対象外となるものもある
- 28時間以内の就労制限

# 外国につながるのある生徒の状況

## 学校へのつながり



①来日

⇒そのまま小学校、中学校へ  
(国際教室等の活用)

⇒高校受検・入学

②6月卒業 (中国)  
後、来日

⇒日本語学校・フリースクール

⇒高校受検・入学



高校卒業後、社会につながるよう  
**進路実現のための支援が必要**

## (参考) 在県外国人等特別募集

神奈川県内に在住、外国籍を有する15歳以上で、入国後3年以内の者  
全県（県立・市立）で13校、145名募集  
学力検査は「国語・数学・英語」の3教科（ルビ振り対応可）

### 川崎高校における特別募集の競争率

	募集定員	受検者	合格者	競争率
平成31年度	10人	14人	10人	1.40
平成30年度	10人	15人	10人	1.50
平成29年度	10人	11人	10人	1.10

平成31年度  
競争率

大師（川崎）

1.00

弥栄（相模原）

1.10

座間総合（県央）

1.30

伊勢原（県央）

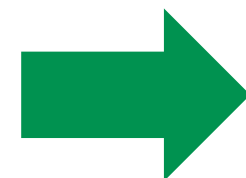
1.00

横浜市立みなと総合

1.00

# 高校での日本語の学び（川崎高校）

**入学**



個別指導 1



個別指導 2



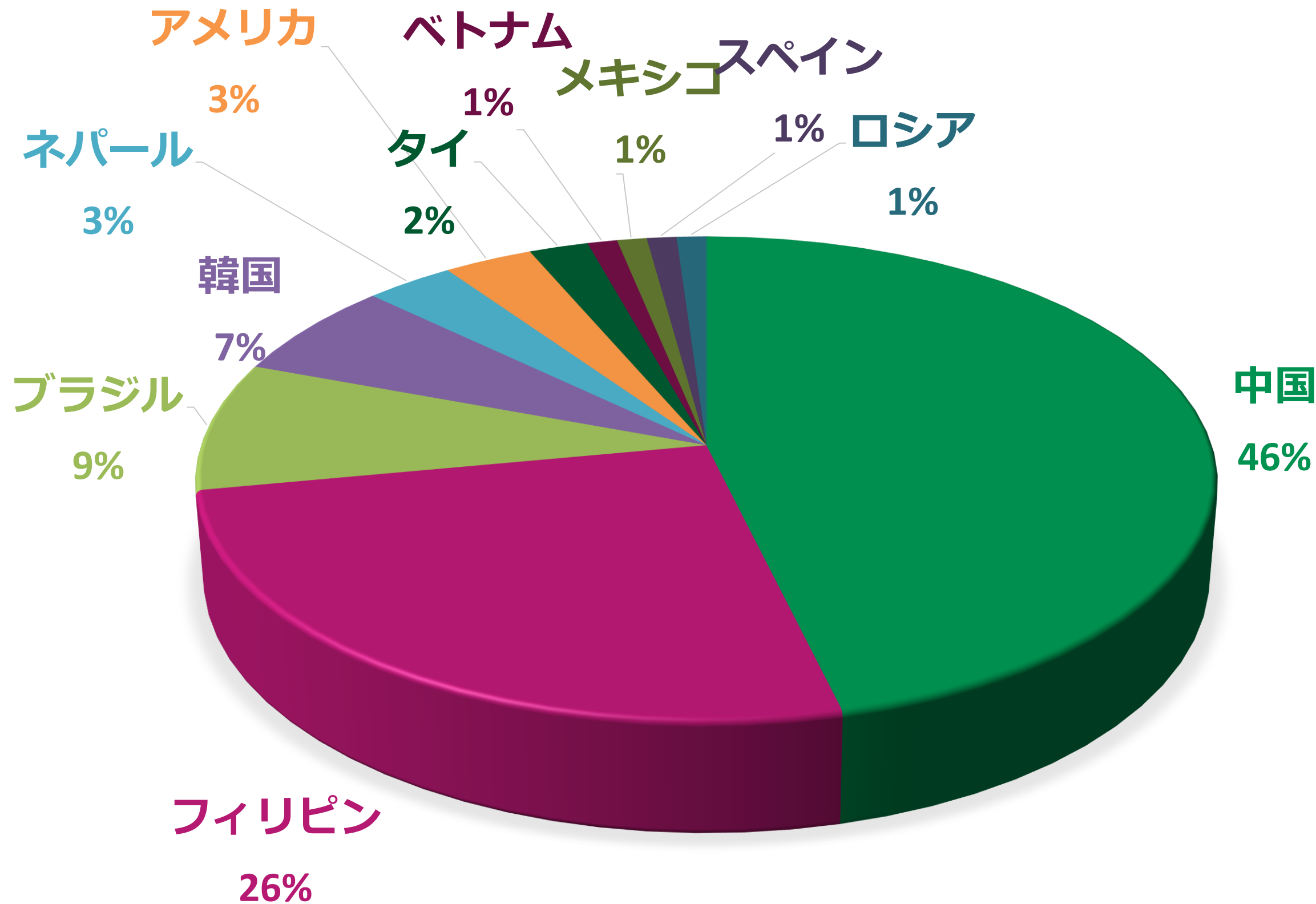
**日本語指導のさらなる充実が必要**

# 日本語をどう学んでいるか（授業風景）



# (参考) 川崎高校の外国につながる生徒状況 (在籍割合10%)

外国につながる生徒の国別割合



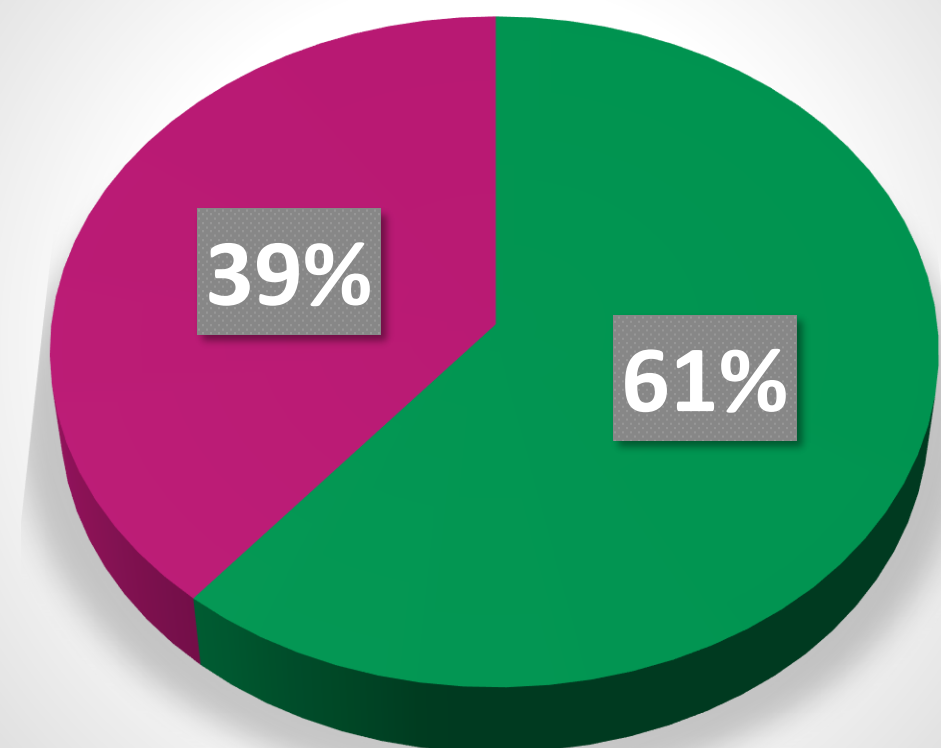
1. 中国 46%
2. フィリピン 26%
3. ブラジル 9%
4. 韓国 7%



# 日本語をどう学んでいるか

## 外国につながるのがある生徒への支援

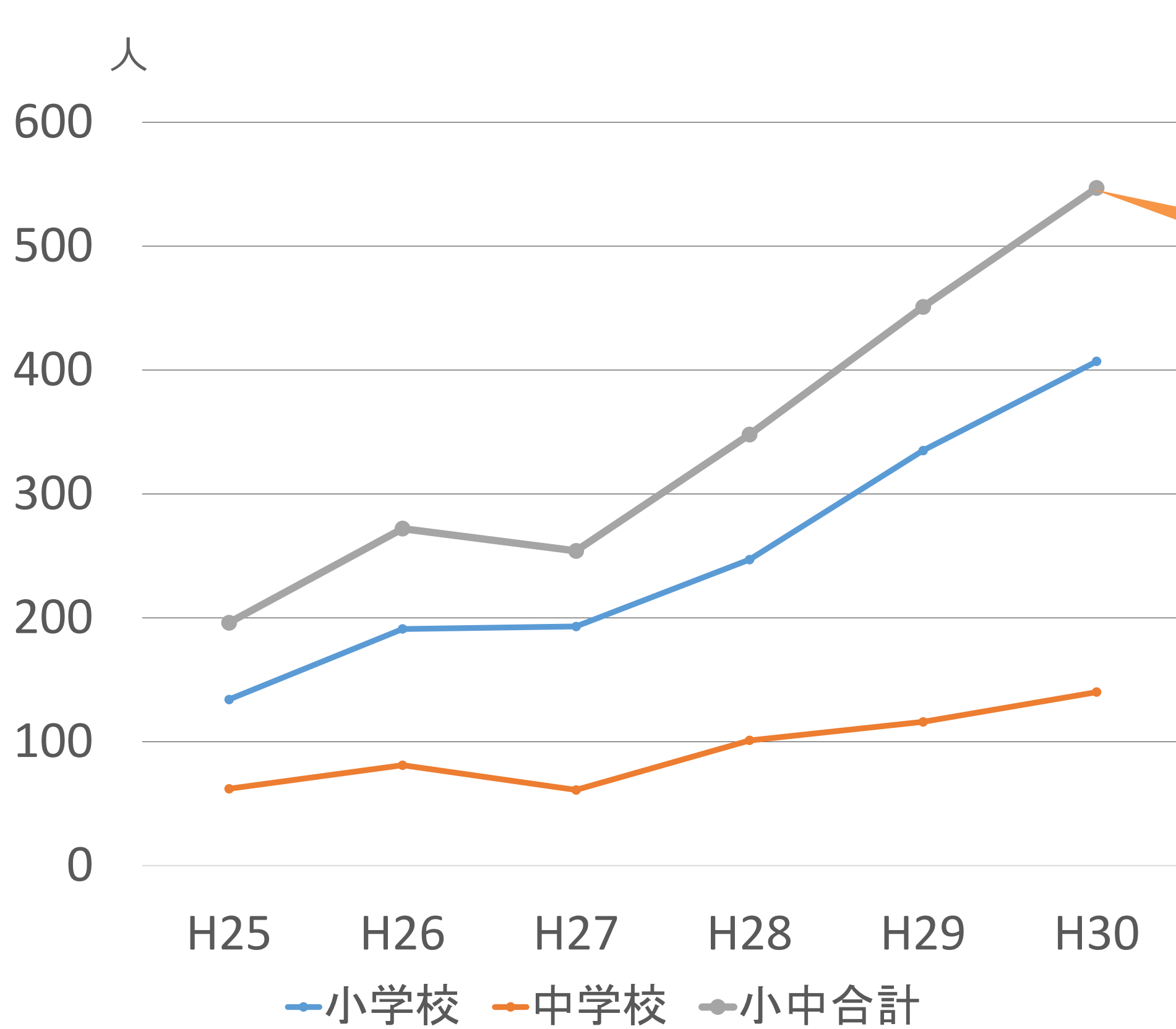
外国につながるのがある生徒に  
対する支援ができているか



■ 支援ができている ■ 支援ができていない

- 漢字圏（中国）⇒適応が早く、基礎学力があれば受検に対応可
- 非漢字圏⇒適応が遅く、授業にもついていけない
- **ルビ付きテキストの準備**
- **各国の言語に即したテキストの用意**

# 川崎における状況



- 急速に増加する外国につながる生徒
- 川崎市内の小中学校の状況

日本語指導が必要な  
児童・生徒が5年間で**2.8倍**



数年後は高校に進学

# 川崎でつながる（他校協働連携）



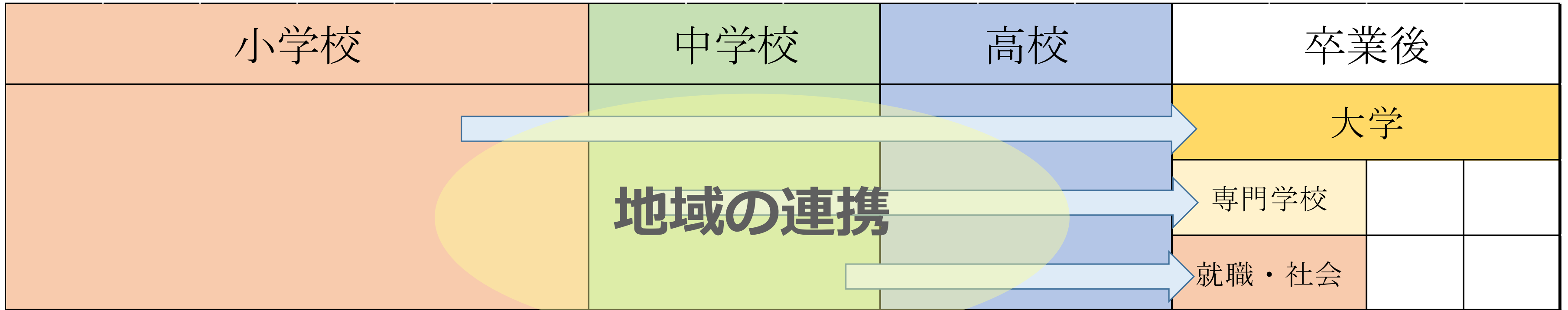
- 2019年7月27日（土）
- 外国につながる高校生向け「進路相談会」開催
- 川崎高校 大師高校 鶴見総合高校 3校連携
- 地域NPOとの連携 Me-net 青丘社 ABC-JAPAN
- **モデルケース（先輩）との出会いの場の提供**

# 川崎でつなげる（地域の中学生と高校生の交流）

- 2019年7月25日～8月23日（全12回）
- 中学生向けサマーセミナー
- **高校生の活躍の場**



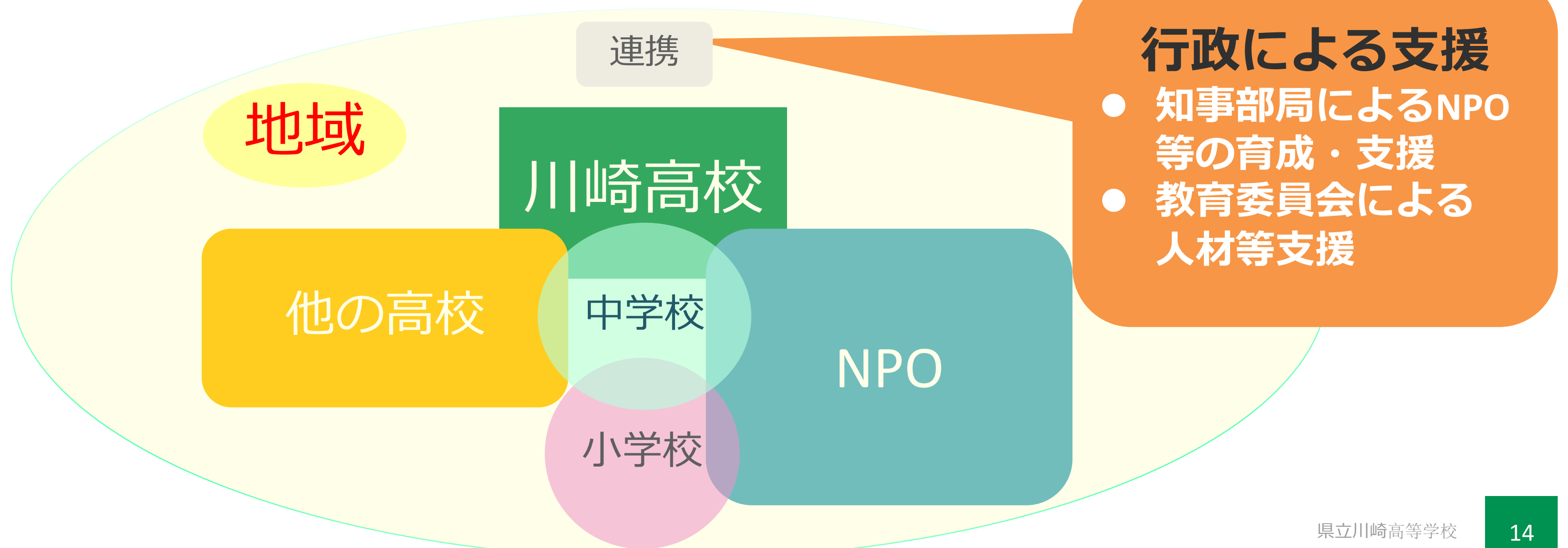
# 地域が連携するキャリア支援を目指して



来日の時期を問わず、地域の連続した  
日本語教育支援ができる学習環境づくり

# これからの課題⇒点から面へ

- 個別の学校の支援体制から地域支援体制へ
- 日本語指導のさらなる充実
  - ⇒ 日本語指導する教員のスキルアップ
- 年齢に合わせた切れ目のない支援体制の構築



4 質の高い教育を  
みんなに



Fine



ご清聴ありがとうございました